



都立南大沢学園通信

～情熱・誠実・実践～

東京都立南大沢学園
校長 井上 美保
令和8年2月2日発行
2月号

変わる時代、自分の力で働くために

校長 井上 美保

季節は早くも2月となりました。

3年生は卒業式まで、1・2年生は進級に向けて、残された時間はあと1か月半ほどです。今年度をしっかりと締めくくる、大切な時期を迎えています。

3年生のみなさん、「技能競技会」がいよいよ目前に迫っています。この競技会は、3年間の学びの集大成です。「職業に関する教科」であるコースや各教科の授業で身に付けてきた知識や技能、技術を本番で存分に発揮してください。

就職内定の知らせも次々と届いています。みなさん一人一人には、これまで思い描いてきた「自分のありたい姿」があるはずです。夢の実現に向けて、自分を信じ、最後までやり抜いてください。

「技能競技会」は、1・2年生にとっても大切な学びの機会です。緊張感のある雰囲気の中で、3年生の先輩たちが積み重ねてきた努力の成果を間近で見ることができます。その姿を1年後、2年後の自分に重ね、今の自分に何ができるのか、何を大切にしていくべきかを考えるきっかけにしてください。

さて、先日、本校で「企業就労促進会議」を行いました。

この会議には、先輩が働いている企業の方々や、これから障害者雇用に取り組もうとしている企業の方々、大学の先生に参加していただき、これから企業就労について話し合いました。この会議を通して、南大沢学園の生徒を応援し、支えてくださる方々がたくさんいることを、改めて感じることができました。

社会は今、大きく変化しています。皆さんのが働く環境もこれまで以上のスピードで変化し、先のことを予測できない時代と言われています。だからこそ、日々の授業や学校生活を通して、働くための「土台」となる「準備性」をしっかりと身に付けていくことが大切です。一つ一つの経験は、必ず自立につながっていきます。目の前のことに対する真摯な取り組み、自分の道を、自分の力で切り開いていってください。

テーマ【働く】【暮らす】

就労生活と自己決定

主幹教諭 森川 崇

1年生の皆さんは1月最終週に短期インターンシップがありました。各事業所での就労体験は、緊張の3日間だったと思います。目標設定し、準備を整え、実践したことは、今後の自信につながります。目標に対する振り返りをしっかりと行いまとめしてください。

大きな流れとして、1年生では「職業に関する教科」や「一般教科」の授業、学校内の日常生活や部活動、家庭生活、学校外での短期インターンシップを通して「自己理解」を進めます。

さらに2年生では2回行うインターンシップの体験を通して得られる自己理解も「どんな業務をやりたいのか」「どんな働き方が自分に合っているのか」といった「自己選択」につながります。

3年生では、自分の特性や、それまでのインターンシップや現場実習の体験や評価を踏まえ、どんな職種で働きたいのか、労働時間、通勤時間は、どの程度が自分に合っているのかを「自己決定」します。

「条件を満たして就職する」ということだけでなく、安定して長く働き続けるためには、例えば次のような項目について考えておくことが必要です。

- ・毎月決まった収入があれば、安心して暮らせる
- ・毎日同じ時間に起きて、同じ時間、働くことが心地よい
- ・自分の仕事が会社や、社会のためになっていると感じたい
- ・利用者さんやお客様の笑顔が見られるとやる気が出る
- ・同じ仕事でも、前より早く正確にできるようになると楽しい
- ・週ごと、月ごとに分担や担当が変わる仕事で、いろいろな業務をしたい
- ・先輩と一緒に、コミュニケーションしながら仕事をするのが楽しい
- ・決まった手順の仕事を、一人で黙々と進めることで、落ち着いて過ごせる

自分を知り、自分で選び、自分で決める。生徒一人一人がこのことを達成できるよう、支援して参りますので、保護者の皆様には引き続きよろしくお願ひいたします。